

2
藏君等の盡力で耀と言ふ小冊子が刊行された。今年も之れが行れたので今後年中行事として行ふ心算である。今年巻末に付した新語解釋や鐵工組合運動略史其他諸君の參考になれば甚だ結構である。然し鐵工組合運動略史は急場の間に合したので間違つて居るかも知れない諸君の御叱正を受けたいと思ふ。それに信條は今年初めての企てあると共になくてもかまいませんと書いたからか信條を書かなかつた人が大分ある様だがお互の心得にも修養にもなる事だ。來年からは皆で書きたいものだと思ふ。そして來年は一層有意義に日記の様なものにして見たいと思ふ。それはともあれ一九二〇年までの日本の労働運動は饒舌の労働運動であつた。一九二一年は斷行の時機である。そこ

3
に堅實なる労働組合の勝利がある。大正十年元旦東天紅をさす處我等が歡呼を以て迎ふる合言葉は労働運動の敢行である。

坂本孝三郎